

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2774500447		
法人名	社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会		
事業所名	泉ヶ丘園グループホーム		
所在地	大阪府泉佐野市日根野5565-136 (電話) 072-467-2160		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪府大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年11月26日	評価確定日	

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成12年 4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤10人, 非常勤7人,	常勤換算16.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	3階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	1,000円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	200円	昼食	550円
	夕食	450円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成20年10月1日現在)

利用者人数	名	男性	0名	女性	18名	
要介護1	0	要介護2	5			
要介護3	7	要介護4	5			
要介護5	1	要支援2				
年齢	平均	84.7歳	最低	73歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山病院 泉佐野記念病院 大野歯科医院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

野山や小川などの豊かな自然に囲まれたホームの中で季節の移ろいを身近に感じながら、それぞれが個々のペースでゆったりとした時間を過ごしておられる姿がとても印象的でした。敷地内には家庭菜園やみかん畑などもあり、食卓は自分たちで育て上げた旬の食材で彩られていました。また、同一法人の老人福祉施設や障害者施設などが隣接されており、相互間の交流も積極的に行われていました。職員研修や個別ケアにも力を注いでおられ、利用者本位のサービス提供を強く意識されていました。また、スタッフの物腰も非常に柔らかく温かみに溢れており、入居者の表情や家族アンケートの結果などからも、強い信頼関係のもと、日々安心した生活を送っておられることが確認されました。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での重度化や終末期に向けた方針について、今後入居者や家族からのニーズがあれば、住み慣れたホーム内で出来る限り生活が継続できるよう、前向きに取り組んでいきたいと考えておられます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護や虐待防止に関する知識の向上および、地域包括支援センターとの更なる連携強化などを検討されています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ホーム内での行事や取り組みを報告し、参加者からの指摘や意見をサービス向上に活かしておられます。また、各開催時期に見合った勉強会(脱水・ノロウイルス・インフルエンザ予防等)の実施も見られるなど、より良いホームづくりに日々努めておられます。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会・行事・面会時などに家族の意見を積極的に聴取し、運営に反映されています。また、機関紙や電話などにより、定期的な報告も行っておられます。ホーム内には意見箱の設置や苦情受付担当者の明示もあり、利用者満足に向けた万全の体制が整備されています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会行事への参加や、法人行事の際に地域住民との交流を積極的に図っておられます。また、隣接する同一法人のデイサービス利用者などとの交流も日常的に行われており、地域との深く良好な関係を構築されています。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和（すこやかに・ゆたかに・なごやかに・あんしん・いたわり・やさしさ）の理念の下、利用者の人格・人権を尊重されています。また、健康・安心・豊かなサービスを提供し抑制の無いやさしい介護を目指します、と方針もしっかりと持っておられます。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に沿ったサービス計画・サービスの実施が徹底されている上、全職員の名札には「理念」が明示され、就業前には必ず目を通してから業務に就くよう努めておられます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グループホーム開設以前から老人福祉施設などの運営をされているため、法人主催の盆踊り大会やバザー等への住民参加や、逆に地域の年中行事や老人会イベント等への参加も見られ、地域との密接かつ良好な関係を構築されています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議で全職員が外部評価の意義を理解するとともに、評価結果の指摘事項についての改善を検討されるなど、出来ることから着実に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、ホームでの行事や取り組みを報告し、得られた意見や指摘事項をサービス向上や運営に活かしておられます。また、各開催月に見合ったテーマの勉強会を実施されるなど、内容の充実した会議内容となっています。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市内のグループホーム運営協議会に参加し、市町村担当者から今後の方向性や意見を積極的に聴取されるなど、サービスの質の向上に取り組んでおられます。		
<b>4. 理念を实践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時や電話・法人機関紙・行事（花見・バザー・盆踊り大会等）の際に、個々にあわせた報告をされています。		法人全体の機関紙を定期的に発行されていますが、他にグループホームだよりのなものがあれば、ご家族はより一層喜ばれることと思います。可能であれば、一度ご検討ください。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置。また、事業所の相談受付担当者や公共団体の相談窓口が重要事項説明書に明示されています。また、運営推進会議や電話・面会時等に聴取した意見等も運営に反映されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動が極力ないよう努めておられます。また、万が一異動が発生した場合にも入居者が不安にならないよう、個人票（個別援助マニュアル）の整備を日ごろから徹底されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修・中堅研修など、段階に応じた研修を実施。また、外部研修も違った職員がまんべんなく受講できるよう配慮されています。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム連絡会に出席し、同業者との交流や意見交換を行っておられます。また、外部研修にも積極的に参加し、サービスの質の向上に取り組まれています。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームに隣接している同一法人のデイサービスやショートステイの利用中に交流の機会があり、ホーム入居後も他のサービス利用者との交流が見られます。ご本人の行動を把握しながら、他者との人間関係を自然に構築できるよう、常に配慮されています。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご本人の得意なことをしていただくだけでなく、職員も一緒に作業等をされています。また、料理や園芸など個々の得意分野で入居者が主体となって取り組まれています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者自身やご家族から過去の生活の様子や職歴などを聴取し、個性の把握に努めておられます。また、ホームでの生活は極力ご本人の意思を尊重し、見守る姿勢で援助されています。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の日ごりの様子でポイントとなる部分をチェックし、ドクターや関係職員と話し合い、また本人・家族の意見も反映された介護計画の作成がなされています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回のケアカンファレンスと6ヶ月に1回のモニタリングを実施されています。また、状態の変化が見られたときは随時介護計画を見直す体制も整備されています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同一法人の他サービスとの交流や連携が盛んで、行事の参加や園芸活動など、ご本人の能力に応じた柔軟な支援が行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望するかかりつけ医への受診や往診が可能となっています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階からかかりつけ医と相談し、ご本人やご家族が方針を決定するための情報を提供されています。また今後、重度化や終末期に対するケア体制の整備にも積極的に取り組んでいきたいと考えておられます。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	月1回、人権や記録方法に関する研修会を行うことで、プライバシーの確保を徹底されています。また、おむつ外しにも積極的に取り組んでおられ、個人の誇りを常に大切にされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の日程はあるものの、入居者一人ひとりの希望や状態・体調に配慮した支援を心がけておられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況に応じ、職員と一緒に調理・盛り付け・配膳・片付け等、楽しく食事が出るよう工夫されています。また、家庭菜園で収穫した野菜がふんだんに使用された献立となっており、家庭的なぬくもりが感じられました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴がより楽しいものとなるよう、毎日入浴や夜間入浴も可能となっています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人の趣味や性格・職歴などを考慮した「あなたの出番表」を作成し、その時々で有効活用されています。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望に応じ、ショッピング・お参り・散歩・敷地内の菜園等への外出支援が日常的に行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関には鍵をかけておられません。門扉は治安上施錠されていますが、インターホンでの呼び出しや、入居者ご家族は暗証番号で自由に出入りが可能です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会いの訓練を年数回実施されるなど、防災への高い意識を持っておられます（法人施設合同2回・ホーム単独1回・夜間想定1回）。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士や看護師と相談しながら、個々に応じた適切な支援を実施。水分提供の機会が1日に9回も設けられている上、食事量が少ない方にはおやつや次の食事で補えるよう十分配慮されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースには季節に応じた生け花やクラブの作品・写真等を掲示されています。また、窓からは野山や小川・桜の木などが観賞できるなど、ゆったりと居心地よく過ごせるような空間づくりがなされています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたタンスなどの持ち込みが可能です。また、写真や楽器・趣味の道具なども見られるなど、居心地よく過ごせるように工夫されています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。